

皆の広場

素人の文化考③「藤(フジ)」の花談義

自文科

永野徹

[A]藤の花談義

1. 藤(フジ)の植性

①フジの属性

フジ(学名:Wisteria floribunda)はマメ科フジ属の蔓性落葉木本で8種類ほどある。葉は奇数羽状複葉で先端に小葉が一つと左右に鳥の羽のように小葉が互生に6対から9対付く。葉柄の付け根には葉枕(ヨウチン)と呼ばれるふくらみがある事が特徴。花の開花時期は4月～5月、ゴールデンウィーク前後が最盛期。花柄が花茎に均等につき長い紫色の総状花序が日本の春の賑わいを増してくれる。(右:フジの花写真)

②フジの学名

フジの学名(Wisteria)を名付けたのは英国人Thomas Nuttallと言う植物学者で何故かアメリカの解剖学者「Wisutar教授」の名前を採用したらしい。また”floribunda”は「花が多い」との意味。

③日本固有種

本州から九州の温帯～暖帯に架けて分布して、種類は関西以東の山地に自生するヤマフジと植物学者「牧野富太郎博士」の命名されたノダフジ(野田藤)と呼ばれる2種類がある。ノダフジの名前は藤の名所であった大阪市福島区野田(旧シニア自然大学近く)に因み、福島区玉川の春日神社には「野田藤跡碑」が建立されている。藤の樹皮は灰褐色から灰白色で、網目状に裂けてザラつきコブ病が出やすい。また木に巻き付いて樹幹に登り、全面に広がる。下から見上げた時ヤマフジは右巻きでノダフジは左巻きが多いらしいが、小葉の幅はやや狭く、花の穂が長いことが特徴。

④フジは豆科

※右手を握って親指の指す方向に巻く藤はノダフジ。花の後にできる実は豆科の特徴で、莢(サヤ)の中に種子が包まれており果皮は硬い。(写真:wikipediaより)

原作H25.5.2



ピンク色のフジ



白色のフジ



さや



さやの中の状態



種子

⑤フジの名称

古代に蔦から布や縄、籠を作り、布織り作業の「疋糸(経)を打つ」ことから「経(フ)を打つ」と訛り更に「フジ」と変化したと言われる。

2. 藤の生命力と歴史・文化

①藤原鎌足(旧制:中臣鎌足)

藤原鎌足は飛鳥時代の政治家で藤原氏興隆の元祖を築いた人物と言われる。元々中臣家は祭祀を預かる他の豪族と変わらない官吏であったが、中臣鎌足は飛鳥法興寺(飛鳥寺)の蹴鞠の席で時の中大兄皇子と懇親となり、談々神社で蘇我入鹿抹殺の計画を練り「乙巳の変」で蘇我氏を滅ぼし中臣家興隆を画策し臨終に際して、天智天皇(旧中大兄皇子)から、「大化の改新」の功績で大織冠と「藤原姓」を賜った。出生地が「大和国高市郡藤原」であったことから「藤原姓」を授かったと言う。

②高貴な藤の色:藤壺女御(源氏物語)

源氏物語に登場する光源氏の「紫の縁」の姫君の中でも、中庭に藤が植わった飛香舎に住む最愛の妻であり、義母であるのは「藤壺女御」である。古代、紫は最高の高貴な色で藤の花そのものを連想する。源氏物語の作者の名前はこれを地で行く「紫(むらさき)式部」である。

③藤原氏興隆とフジの生命力

藤原氏起源の元祖は「大化の改新」の立役者「藤原鎌足」であり。それを不動したのは、娘(光明子)を聖武天皇に嫁がせ摂関政治の元を築いた鎌足の子「藤原不比等」である。そんな藤原氏は「藤の花」のように木(天皇家)に寄生して甘い汁を吸う代表的な寄生樹木(豪族)である。
藤原氏の神社は春日大社で、710年、藤原不比等が藤原氏の氏神「建御雷命」(タケミカヅチ)神を鹿島から「春日の御蓋山(ミカサヤマ)」勧請したもの。
この時「御蓋山」の既存の神様を他所へ移して入変わったと言われている。
フジが寄生して成長する様と通じる所があり興味深い。
藤原氏の生命力の強さは、武家社会の鎌倉、室町時代を経て現在まで名前が温存され、家名を変えてでも残るその代表は近衛家、九条家、一条家などです。



白豪寺の藤

④藤原姓:藤原十六藤

「藤の名前が付く姓は大凡16あって藤原氏の一族ではないか」と言われるが、藤原氏とは無関係らしい。藤原姓から派生したかも知れないと間違い易い代表的事例を以下に記載。名前の8割は明治時代になって取得されたとの由。

- | | | |
|----------------|-----------|-----------|
| a) 居住地による変姓例…… | 伊藤:伊勢の藤原 | 後藤:備後の藤原 |
| | 加藤:加賀の藤原 | 近藤:近江の藤原 |
| b) 職業による変姓例…… | 工藤:木工の藤原 | 首藤:首目の藤原 |
| | 進藤:修理進の藤原 | 内藤:内舎人の藤原 |

⑤藤原定家:ティカズラ

生命力の強さの代表的な寄生樹木で思い出すのはティカズラ。
式子内親王を愛した藤原定家が死後も彼女を忘れられず、定家蔓に生まれ変わり彼女の墓に絡みついたと言う能(定家)に基づく。

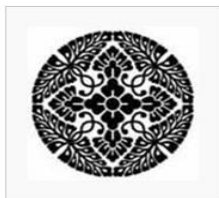
⑥本願寺の紋:下がり藤(西本願寺)・八藤紋(東本願寺)

出生本家は西本願寺系でお寺の紋は下がり藤です。
西本願寺は江戸時代まで八紋藤、明治時代に九条家の下がり藤を下付された。
蓮如の曾孫で証如上人(1516生)時代に門跡寺院となり五七桐紋を勅許された。
一方東本願寺(大谷派)は八藤紋と牡丹紋。(本願寺は西も東も藤の紋です)
織田信長の本願寺攻めで石山本願寺の顕如は1581年和睦して紀州に退くが長男の教如は抵抗を続ける。顕如が亡くなり、関ヶ原後、徳川家康が教如に本願寺東側に寺領を寄進し東本願寺派が誕生。一方教如の異母兄弟で顕如を継ぐ本願寺派の准如が西本願寺派となり西東に分裂した。

西本願寺大谷家



西六条藤紋



西六条八藤紋

東本願寺大谷家



本願寺抱牡丹紋



東六条八藤紋

3. 近隣の”藤の花”の名所

過去に訪れた事のある数少ない藤の花の名所風景を添付します。
写真記録を撮れていないこと、人物が映っている等の理由から多くは最近のネットから藤の花の写真を借用。

A) 居住県内(兵庫県)

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| ①明石市住吉神社の藤棚 | ②加西市日吉神社・六尺藤 | ③宍粟市大歳神社・千年藤 |
| ④丹波市白豪寺・九尺藤 | ⑤朝来市白井大町の藤棚 | |

B) 他府県

- ⑥岡山県和気神社・和気清麻呂を祀る神社でフジの種類が多い。
⑦東京都亀戸天神社・安藤広重の浮世絵にも登場する大藤
⑧栃木県足利市・フラワーパーク: 迫間(はさま)のフジは樹齢140年、支配面積1000㎡最大規模。

[B]探訪した藤の名所

(1)兵庫県内の「藤」の名所

(写真 * kobe travel cookan HP 兵庫県藤の花)



壁紙 藤棚と藤(フジ)の花
明石市魚住 住吉神社
(明石市)



日吉神社と六尺藤
(加西市)



大歳神社
千年藤と藤の花
(宍粟市)



千年藤ライトアップ夜景
大歳神社
(宍粟市)



白豪寺の九尺藤
(丹波市)



壁紙 九尺藤のライトアップ夜景
(丹波市)



壁紙 白井大町藤公園
藤棚・藤の花・鯉のぼり
(朝来市)



壁紙 藤棚ライトアップ夜景
白井大町藤公園夜景壁紙
(朝来市)



◇岡山県和気神社の”藤の花”

- ・和気清麻呂を祭祀
- ・藤の種類が多い

(2)関東の藤名所

1) 亀戸(かめいど)天神社

- ・安藤広重の浮世絵に登場(江戸時代から評判のフジの花)

亀戸天神社 藤まつり
(かめいどてんじんしゃ ふじまつり)



亀戸天神社のライトアップされた藤の花



兵庫県内
「白豪寺の藤」

* 写真: 東京の観光公式サイト



亀戸天神社(東京都)

2) 足利フラワーパークの大藤(栃木県)

(＊写真: 足利フラワーパーク・ブログ)



足利フラワーパーク

樹齢140年
: 藤の広がり面積(東洋最大規模: 1000㎡)



迫間(はさま)の藤(足利フルーツフラワーパーク)